山梨県内の博物館・美術館における 新型コロナ感染症対策の事例 Ver. 1 (2020.05.27)

ミュージアム甲斐ネットワーク事務局 山梨県立博物館

はじめに

県内の博物館・美術館から、新型コロナ感染症拡大予防対策についての問い合わせや相談がいくつかありましたので、共有できるようにまとめました。

当館での対策例が中心となります。分野、展示しているもの、大きさ、 人員、予算など、館によって様々だと思います。ここで紹介している 対策が全てではありません。紹介している中から、皆様の館にとって よいことや、できることを選び参考いただけましたらと思います。

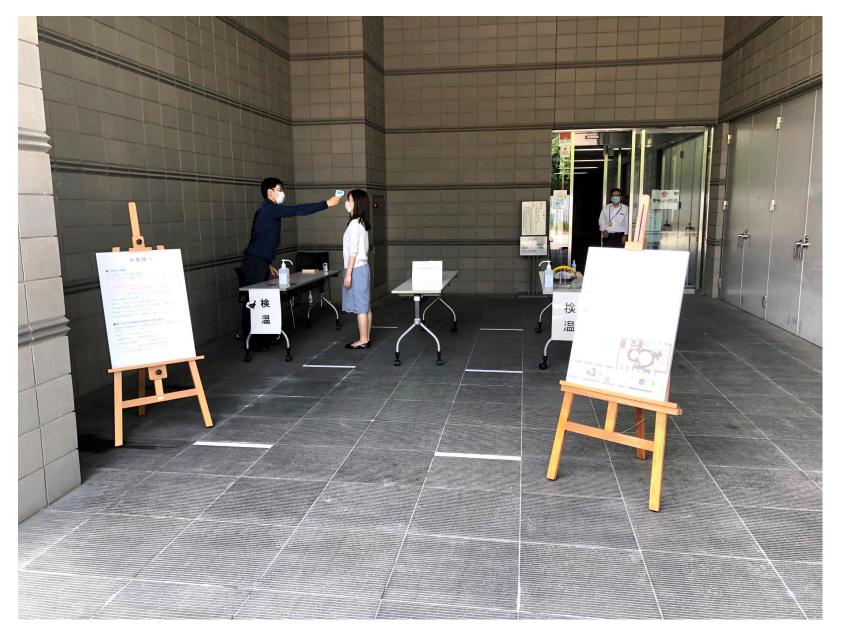
山梨県立博物館の事例

入館の際のお客様へのお願い

- ※随時更新しています。最新版は当館HPを参照ください。
- ・以下のお客様へのご来館のご遠慮

発熱、風邪症状、味覚障害などの体調に不安がある方マスク非着用の方 緊急事態宣言の対象区域に在住する方 感染症患者の濃厚接触者として現在経過観察中の方

- ・入館の際の検温、チェックシートへの記入
- ・館内でのこまめな手指消毒や手洗い
- ・鑑賞の際は、他のお客様と1m以上の距離をあける
- ・壁や展示ケースには触れないように
- ・展示室内の混雑を避けるため、入場制限を行う場合がある(上限100人。展示室面積×0.7/半径1m円面積、および国が示すイベント開催時の留意事項にある、屋内100人以下を参考)



建物の入口前に検温コーナーを設置 (2ヶ所の入り口を1ヶ所に)



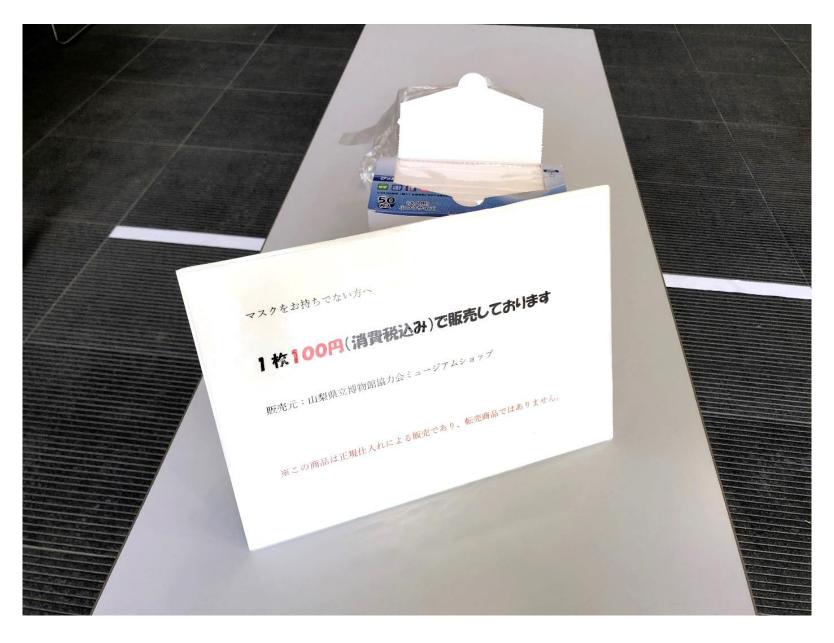
フェイスシールドをしてお客様を検温



検温器

検温課題

- ・検温器の種類によって検出温度の差がある
- ・人体用の検温器がベスト
- ・昼後、気温が高く、食後で帽子の人は高く出る
 - → 帽子を外し、少し冷めるまで待ってもらうより精度の高い検温器で再度検温
- ・37.5度以上が出た場合の対応 「体温は高めでしょうか、体調はいかがでしょうか」 と確認し、再度検温



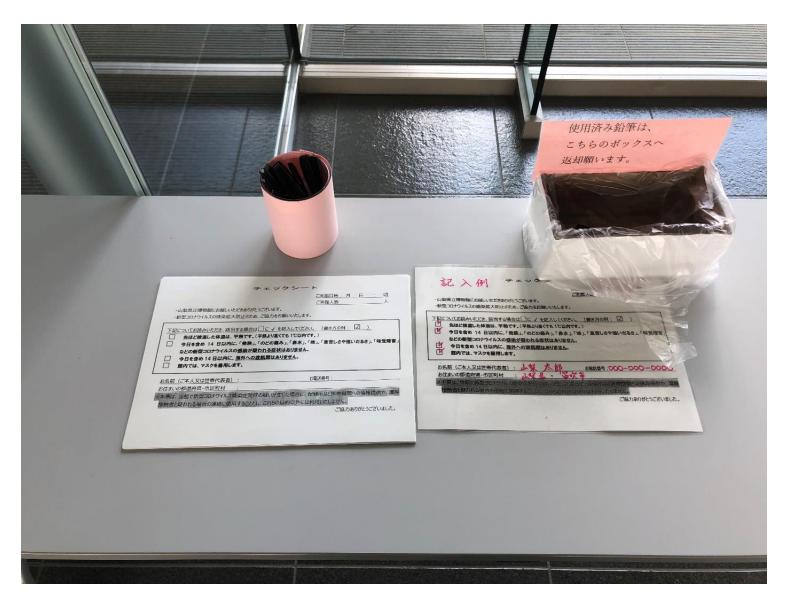
マスクをしていない人にはその場で販売(領収書を事前に作成)

②チェックシート提出 ③チケット販売

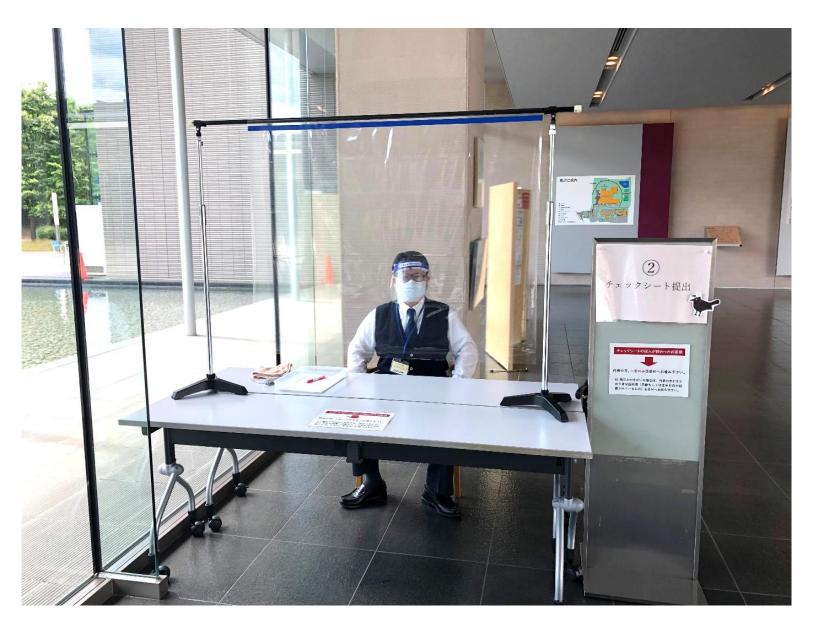


間隔表示

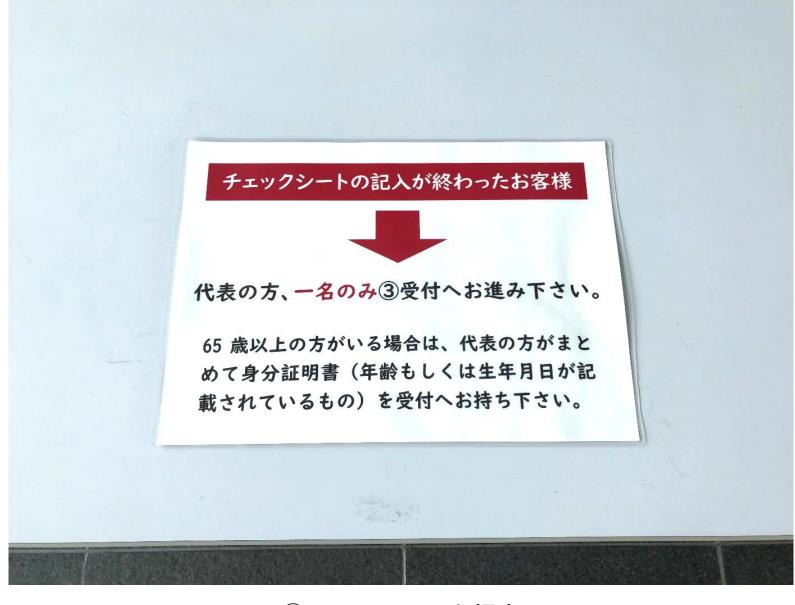
館内チケット売り場付近



①チェックシート記入カウンター



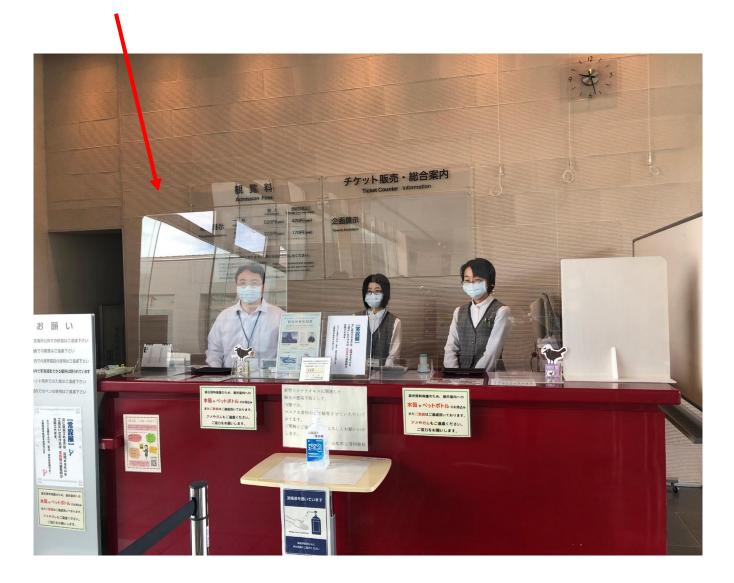
②チェックシート提出



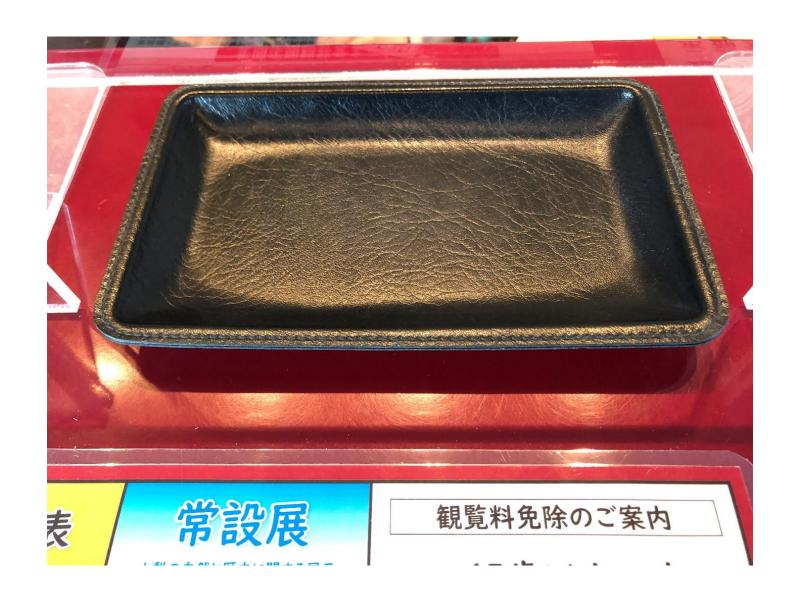
②チェックシート提出

(当館では県内65歳以上が無料になるためその旨の指示も書いてあります)

過去に展示で使ったアクリル板を材料として、つくってもらいました



チケット販売受付



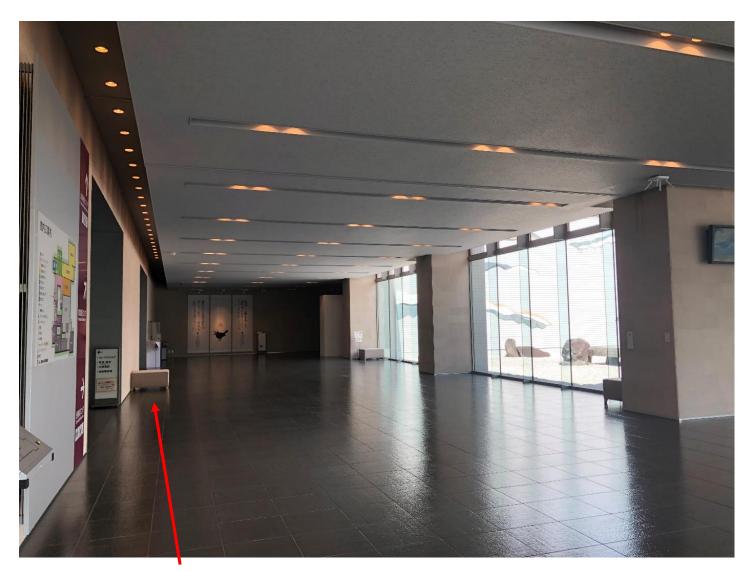
お金はトレーでやりとりを行う



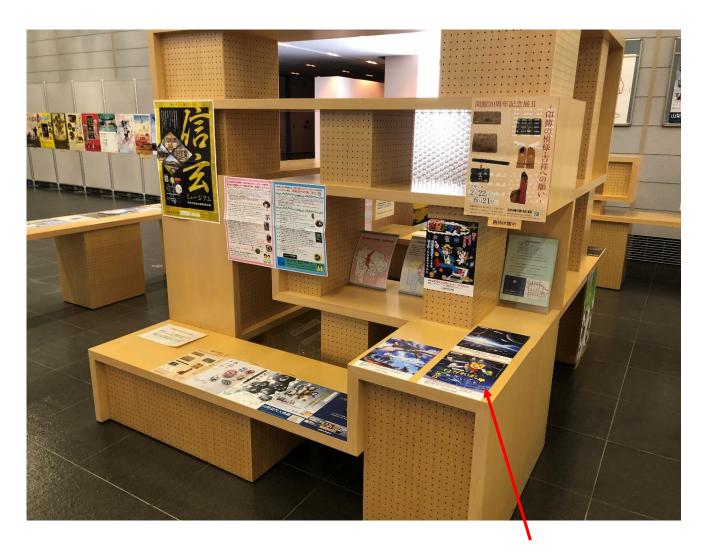
チケット販売受付



お客様へ

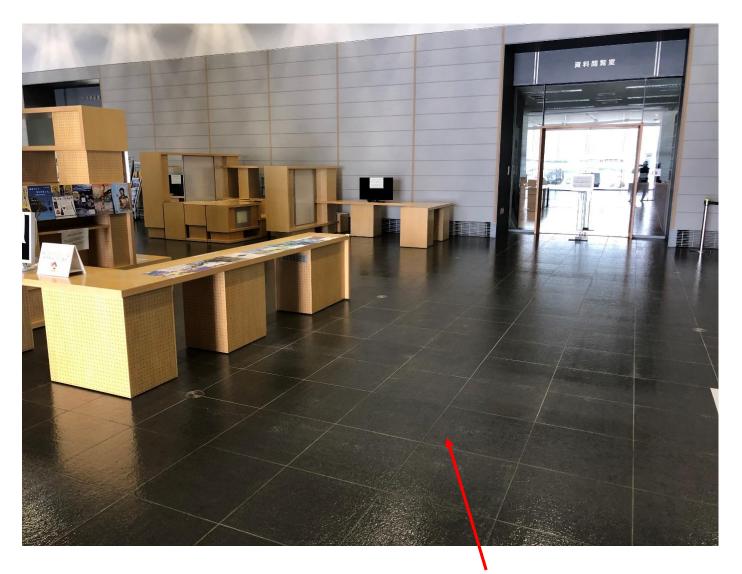


イスを減らしてます



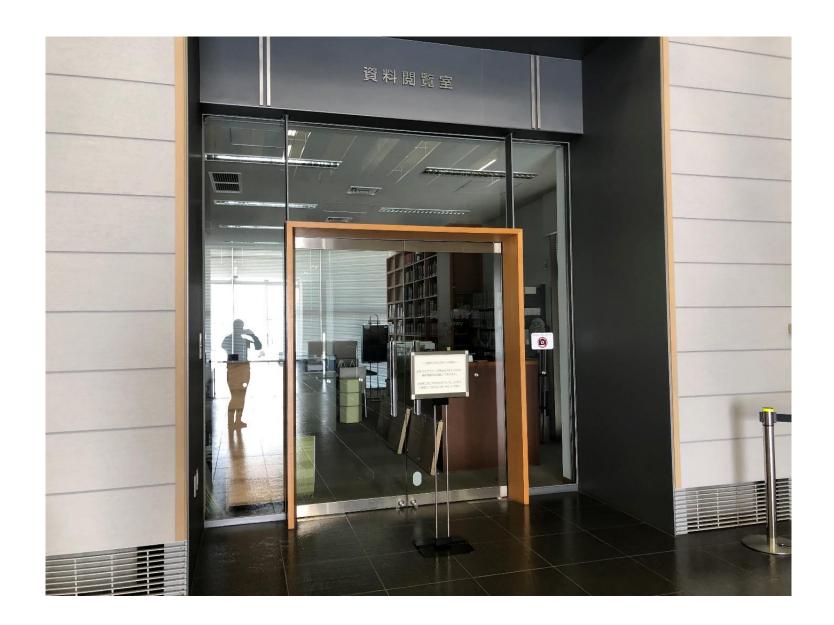
チラシは1枚のみで貼り付け

チラシ置き場

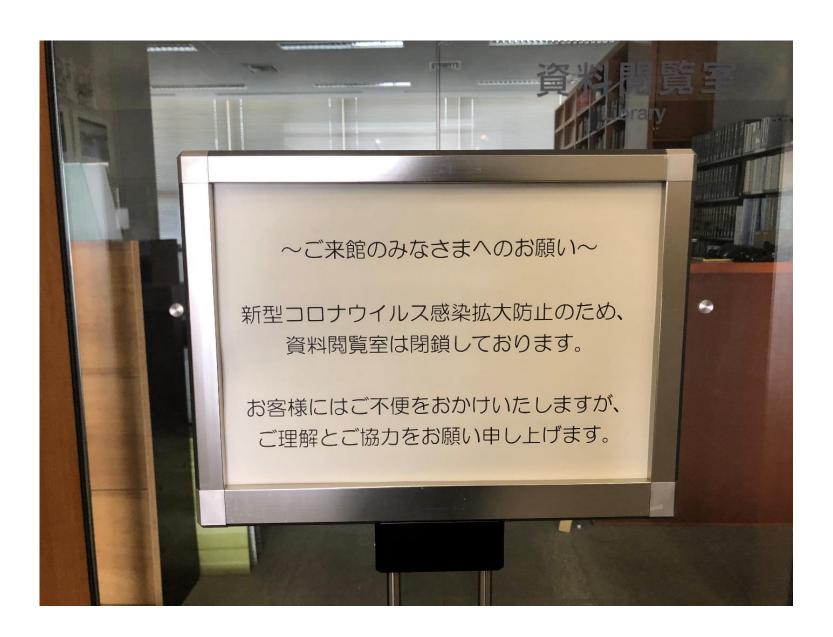


キッズスペース(本やつみきのおもちゃ)を撤去

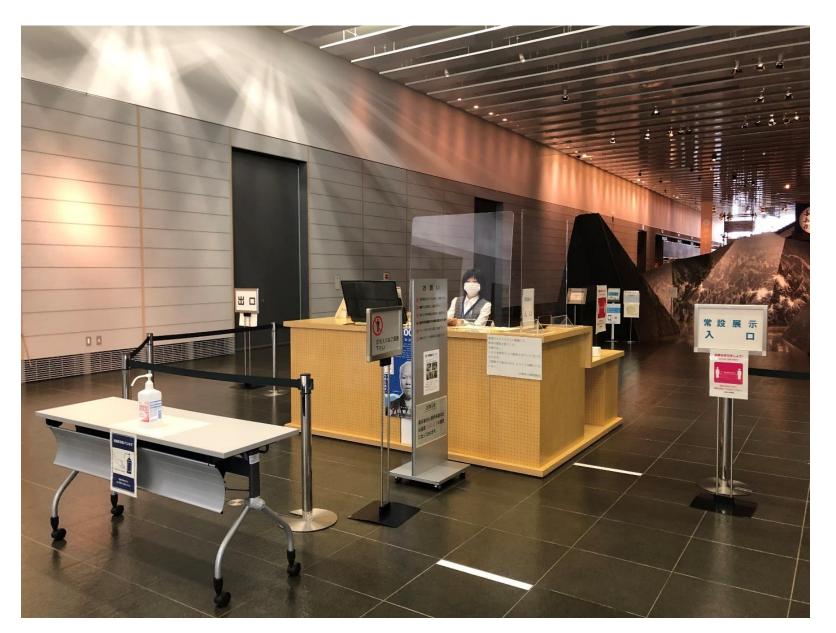
キッズスペース



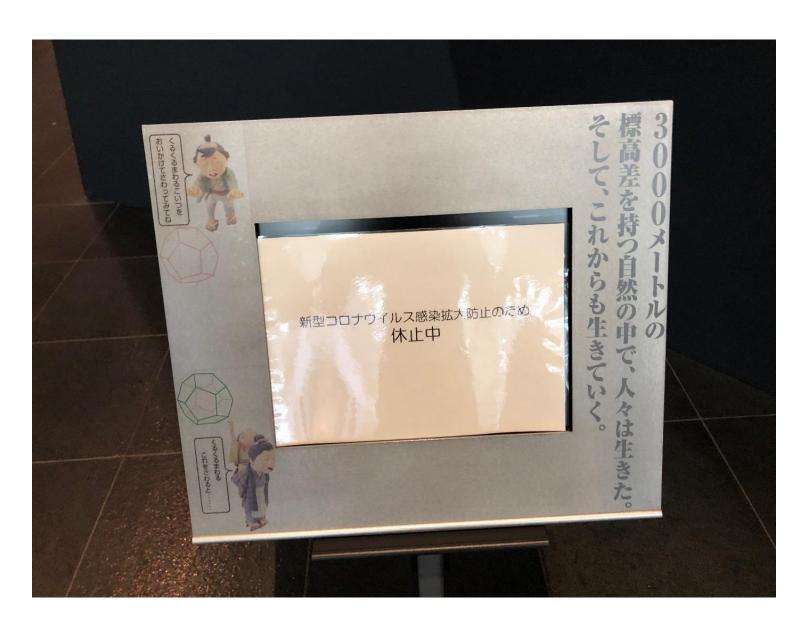
閲覧室



閲覧室



チケットもぎり受付



タッチパネル









※当館の体験スペースのコンセプトが工事中なのでトラテープを使用してます

体験展示スペース(お客様が触れるもの)の封鎖



体験展示スペース(お客様が触れるもの)の封鎖





引き出し展示の封鎖(紙を上から貼り付け)





引き出しを開けて下さい表示の目隠し





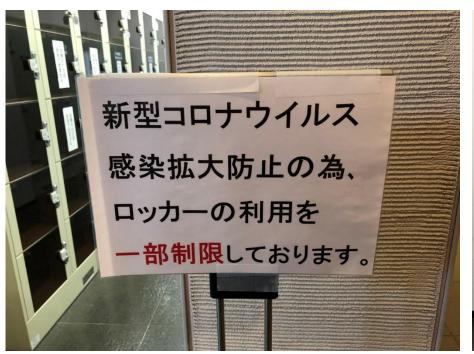
触ったり、のぞいたりする展示の封鎖



イス対策



ショップ





ロッカーは距離をあけて使用 (1日4回の清掃)





ドライヤー等は使用中止に

トイレ(1日4回の清掃)



ウォーターサーバーの使用中止

館内職員への情報共有

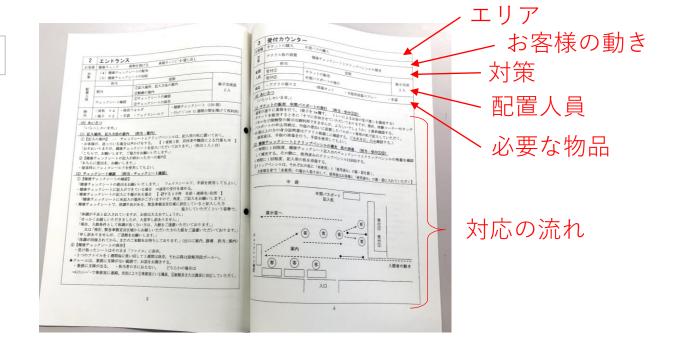
- ・入館者対応マニュアルを作成
- ・想定問答を作成
- オープン前にシュミュレーション

(瀬州版 Ver. 3)

新型コロナウイルスの感染拡大防止
入館者対応マニュアル

山梨県立博物館

対応マニュアル



職員の体調チェック

- ・職員入口に検温器を設置
 - 1日2回検温、体調チェックシートに体調を記録



換気について

・展示室

ガス吸着フィルターがついた空調機で 外気取入れ換気

現在、空調機器を通して感染が広がった話を聞かないため、空調機器のフィルター等でのウイルス対策はおこなっておりません。

※換気に関しては各館で空調設備や展示物、建物の立地などが異なりますので、心配な場合は当館保存科学担当にご相談ください。

イベントについて

- ・講座形式のイベント
 - →年内は中止。
 - 一部のイベントはHP上で資料配布。(おうちで古文書講座)
- ・ワークショップ
 - → 現在は6月まで中止、その後は未定
- ・屋外イベント(お庭ガイド)
 - →6月後半から月1で開催予定 定員を設けて、お客さんと距離を取りながら行う
- ・古文書相談
 - →メールや郵送で対応

資料閲覧業務について

・閲覧室(図書の閲覧)

→ 当面中止、図書館での閲覧再開を、当館の閲覧業務再開 の目途としている。

・収蔵資料の閲覧

→ 当面中止。

・資料の撮影

→ 当面中止、なるべく画像で対応。

・資料の貸出

→今のところ依頼がない。対応は今後検討。

県内他館の事例

サーモグラフィを取り入れた事例







タブレットにサーモグラフィ像がうつる

フロントのチケット売り場より前に設置

サーモグラフィを取り入れた事例

サーモグラフィ使用の課題

外気の影響をうけるため、人の体温が正確に測定できているのかわからない。機器購入の際は体温を測るのに適したものを選択する必要がある。

その他

各機関が出している対策指針等

- ・公益財団法人日本博物館協会ホームページ 「博物館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」
- ・文化庁ホームページ 「新型コロナウイルスに関連した感染症対策に関する対応について」 ※文化施設の感染防止対策事業(補助金)募集中
- ・東京文化財研究所ホームページ 「新型コロナウイルス感染症予防にかかる美術館博物館等 の作品消毒の窓口について」

現在検討中のこと

・ 学芸員実習の対応

このようにする等の案が決まっている館がございましたらお教えいただきたいです

みなさまからの情報をお待ちしてます

- ・当館ではこんな対策をしている
- ・困っていること

などなど

問合せ先

山梨県立博物館 ミュージアム甲斐ネットワーク事務局 〒406-0801 山梨県笛吹市御坂町成田1501-1

TEL: 055-261-2631 FAX: 055-261-2632

メールアドレス: <u>kenhaku@pref.yamanashi.lg.jp</u>

いただいた情報や新しく取り入れたことなどを 随時反映していく予定です